

Information

2022 年度 木村看護教育 振興財団助成募集

●看護研究助成

助成対象▶看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎。

2022年度助成する研究の分野▶基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件▶

①申込者（共同研究の場合は研究代表者）は、日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人。

②大学の教員、大学院生は対象とならない。ただし、大学院生でも、臨床・地域看護に従事している看護職者は対象となる。

③助成採択後、ただちに所属機関等の倫理審査委員会等への承認申請を行うこと。または、すでに承認申請中であること。

④関係所属長の許可・推薦があること。

⑤営利を目的とする研究は対象にならない。

研究期間▶2022 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

助成金額▶1 件につき 100 万円を限度

助成金の使途および報告▶

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外（財団 Web ページの別紙「研究助成費目一覧」参照）。

②助成金の使途については、助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費は含まない。

③助成金の使途については、収支状況表に領収書等を添えて詳細な報告をする。

応募方法▶財団 Web ページの「2022 年度 看護研究助成申込書」に必要な事項を記入の上、郵送

申込締切日▶1 月 20 日(木)必着

選考結果▶3 月下旬に通知

助成金の贈呈▶6 月中旬予定

*助成が決定した研究の代表者は後日「助

成金交付請求書」を提出

研究成果の報告▶研究の成果および助成金の使途状況について、2023 年 9 月 30 日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2024 年 7 月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団—2022 年度看護研究助成事業—『看護研究集録 31 号』」に収載。この研究集録は日本全国の主要な病院や看護系大学に配布予定。研究報告書の内容は、国の内外を問わず、他の出版物（デジタル媒体を含む）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。また、本財団の看護研究集録が発行されるまでは、他団体への投稿をしないこと。学会誌等に投稿する場合、二重投稿になる可能性があるため投稿機関に確認すること。研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。

●専門看護師（CNS）奨学金助成

募集分野▶2021 年 9 月時点で日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の 13 専門看護分野について募集（がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護）

支給対象者▶看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程 2 年コースの 2 年次進級予定者で、次の①②を満たしている者

①大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額▶年額 60 万円

支給期間▶1 年間（4 月から翌年 3 月まで）

支給条件▶看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で 2023 年 3 月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に 2 年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める。

奨学金の申請手続きに必要な書類▶

①本人記載の申請書

②専門看護師としての将来展望、抱負

③1 年次前期の成績証明書

④指導教員の推薦書

⑤5 年以上の実務経験（全て）を証明する書類

*②の書面の様式は自由。ワープロ 1200 字程度を上限に A 4 版で記載すること

*③④についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

*⑤は必要に応じてコピーして使用のこと

*③⑤のうち、提出できない書類がある場合は、理由書を同封すること

奨学金受給者の事後報告義務等▶証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

④氏名や住所等の変更

申込締切日▶1 月 20 日(木)必着

選考結果▶3 月下旬に通知

*助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

【以下共通】

問い合わせおよび申込書送付先▶木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8 階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/

医療・病院管理研究協会 オンライン研修 看護管理 看護業務の改善 (Web 開催)

日程▶1 月 21 日(金)10:00～16:15

テーマ▶看護の最適化のために

プログラム▶「看護記録のイノベーション—PCAPS（患者状態適応型パス）実装後の取り組み」佐々木誠子（東京臨海病院）ほか／『『やりたい看護』の実現—セル看護提供方式®からみえたこと』倉智恵美子（飯塚病院）／「看護の質を高める看護業務とは」森内みね子（日本看護協会）

参加費▶会員 1 万円, 非会員 1 万 3000 円

申込方法▶下記学会 Web ページの「研修」ページより

問い合わせ先▶医療・病院管理研究協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
公衛ビル

☎ 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

✉ <http://byoken.com/>

第 16 回東京都病院学会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 2 月 27 日(日)9:00
~17:00 (予定), [オンデマンド配信] 2
月 27 日(日)9:00~3 月 20 日(日)23:59
テーマ▶コロナ後の病院経営—変わることを
恐れない

プログラム▶基調講演「COVID-19 を振
り返って—公私・官民を考える」河北博文
(東京都病院協会)／協会長講演「コロナ禍
における東京都病院協会の対応」猪口正孝
(東京都病院協会)／学会長講演「『晴れて
よし 曇りてもよし 富士の山』—コロナ
禍の財団 過去現在未来」横山孝(東京都
病院協会)／シンポジウム／特別講演／委
員会企画

参加費▶院長・理事長 1 万 5000 円, 職員
等 5000 円, 学生 1000 円

事前参加登録締切▶2 月 26 日(土)18:00

参加登録方法▶下記 URL の参加登録ペー
ジより

<https://tmha16.com/>

問い合わせ先▶学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-5 東京都医師会館 404 号 東京都病
院協会内

☎ 03-5217-0896

FAX 03-5217-0898

✉ gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp

<https://tmha.net/gakkai/info/16th.html>

第 32 回日本医学看護学教育 学会学術学会 (現地開催)

日時▶3 月 5 日(土)

会場▶ANA クラウンプラザホテル宇部
(山口県宇部市)

テーマ▶心不全パンデミックへの挑戦

プログラム▶会頭講演「“こころ” に心を
奪われて」大草知子(こころ訪問診療クリ
ニック)／特別講演「Creating successful
medical team for heart failure care
(tentative)」Anna Strömberg (Linköping
University)／シンポジウム「包括的チー
ム医療で取り組む心不全」: 1)「残された課
題としての心不全」木原康樹(神戸市立医
療センター中央市民病院), 2)「心不全患者
の在宅療養を支える心不全チームの取り組
み—今, 看護師にできること, やるべきこ
と」前田靖子(名古屋澄心会名古屋ハート
センター), 3)「循環器病対策推進基本計画
と地域医療」名越究(島根大学)／市民公
開講座「こころと睡眠」: 1)「きょういくと
きょうようで認知症予防」宮崎総一郎(中
部大学), 2)「心臓病と睡眠について」安藤
眞一(九州大学病院), 3)「動物の時間から
見た睡眠」本川達雄(東京工業大学)

参加費▶[事前] 会員 3000 円, 非会員
4000 円, 学部学生 2000 円, [当日] 会員
4000 円, 非会員 5000 円, 学部学生 2000
円

事前参加登録締切▶1 月 19 日(水)17:00

参加登録方法▶下記 Web ページの参加登
録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒755-8588 山口県宇部市相生町 8-1

ANA クラウンプラザホテル宇部内

☎ 0836-22-0250

FAX 0836-22-0125

✉ jamne32frontier@gmail.com

<http://www.jamne.org/meeting/32.html>

文化看護学会 第 14 回 学術集会 (現地+Web 開催)

日時▶3 月 12 日(土)

テーマ▶「ふれあう」文化と看護

プログラム▶『ふれあう』暮らしと看護
(仮) 永井優子(自治医科大学)／基調講
演『ふれあう』文化—からだ・記憶・関
係性(仮) 伊藤亜紗(東京工業大学)／教
育講演『「看取ること」と「葬送すること」

の変容(仮)」田中大介(自治医科大学)／
シンポジウム「COVID-19 がもたらした
『看取り』の変容をどうするか(仮)」: 1)
「緩和ケアの立場から」小松崎香(自治医
科大学付属病院), 2)「在宅ケアの立場か
ら」調整中, 3)「COVID-19 患者の在宅
診療の立場から」調整中／市民公開講座／
交流集会／一般演題

参加費▶[事前] 一般 6000 円, 学生 1000
円, [当日] 一般 7000 円, 学生 1000 円

参加登録方法▶下記 Web ページの参加登
録フォームより

問い合わせ先▶事務局

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-
159 自治医科大学看護学部内

✉ info@bunkakango14.com

<https://www.bunkakango14.com/>

第 36 回日本助産学会 学術集会 (Web 開催)

日時▶3 月 19 日(土)~20 日(日)

テーマ▶ウィメンズヘルスを始点とする助
産ケア

プログラム▶会長講演「ウィメンズヘル
スを始点とする母子ケア」渡邊浩子(大阪大
学)／ICM 特別講演(同時通訳あり)「An
autonomous profession: implementing
ICM's Midwifery Professional
Framework」Sally Pairman
(International Confederation of
Midwives)／特別講演①「産婦人科医が取
り組む生涯を通じたウィメンズヘルスケ
ア」木村正(日本産科婦人科学会)／②
『大切な人の〈想い〉とともに』112 日
間のママ 清水健(フリーアナウンサー)
／教育講演①「多職種で実現する女性の心
と体の健康」対馬ルリ子(対馬ルリ子女性
ライフクリニック銀座・新宿)／②「輝く老
年期を迎えるための女性の支援」神出計
(大阪大学)／③「学生の主体性・やる気を
引き出すかわり」根岸和政(大阪大学)
／④「エビデンスに基づくケアを提供する
助産師が知っておくべき統計解析」新谷歩
(大阪市立大学)／⑤「母から子に受け継が
れる腸内細菌」牧野博(ヤクルト)／市民
公開講座①「親になること」青木さやか

(ワタナベエンターテインメント)／②「子どもの脳を傷つけない子育て」友田明美(福井大学)／シンポジウム①「カリキュラム改正に向けての助産師教育の強化」(全国助産師教育協議会)／②「胎児期から乳児期までの切れ目ない支援」／③「COVID-19の感染対策に奮闘した医療従事者の活動と今後の展望」／④「科学で育児を楽しむ」／⑤「がん疾患を持つAYA世代の妊孕性の支援」／⑥「世界の助産師の活躍に目を向けよう—助産師を元気に」(若手研究者活躍推進委員会主催)／ワークショップ①「地域での継続支援を推進する」／②「助産師が行う避妊教育・相談の意義」／③「アボーションケアの課題—女性、助産師、システムの調査から見たこと」／④「災害に備える『減災カレンダー助産師版』の活用方法と活用効果」／⑤「乳腺炎ケアガイドライン2020 あなたも乳腺炎重症度判別スコアリングの達人になろう」／⑥「ガイドラインの読み解き方と活用」／⑦「社会の変化に即応する政策活動の展開—コロナ陽性妊産婦への支援」／交流集会①「母子のための地域包括ケア病棟」を創ろう／②「やせ体格の妊婦の体重増加をどう支援するか—改訂された『妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針』をふまえて」／③「助産政策に強くなろう！—第8次医療計画に向けた助産師の役割発揮」

事前参加登録▶[第1次受付] 会員8000円、非会員1万2000円、学生(会員)無料、[第2次受付] 会員1万円、非会員1万4000円、学生(会員)無料、学生(非会員)4000円

参加登録期間▶[第1次受付] 2月28日まで、[第2次受付] 3月1～16日

参加登録方法▶下記Webページの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル インターグループ内

☎ 06-6372-3052

FAX 06-6376-2362

✉ jam36@intergroup.co.jp

http://jam36.umin.jp/index.html

日本地域看護学会第25回 学術集会(現地+Web開催)

日時▶8月27日(土)～28日(日)

現地会場▶富山国際会議場(富山県富山市)

テーマ▶地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッショナル—当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり

プログラム▶学術集会長講演「当事者・家族の暮らしの場で生活を守る地域看護」田村須賀子／特別講演「地域看護への期待—看護職の自立のために」上野千鶴子／教育講演①「家族の総意」をどう作り上げるか—解決志向型の家族システムアプローチ」柳原清子／②「住民主体の共生型地域づくりとAAR循環」堀田聡子／③「今、あらためて働き盛り世代への健康アプローチ」大神あゆみ／④「ポストコロナ禍の保健師の現任教育」佐伯和子／シンポジウムA「個々のニーズに向き合い対応していくことにより着実に積み上げる保健師活動」松下光子ほか／B「地域でともに生きる」佐藤伸彦ほか／C「地域包括ケアに必要な多職種間の情報共有を支えるICTの利活用」金井秀明ほか／指定集会①「生活と医療を統合する継続看護マネジメント—実践への活用」長江弘子ほか／②「地域で守る子どもの健康—ネット依存」山田正明ほか／③「ポストコロナ禍の訪問看護」加藤真理子ほか／④「生活保護利用者の健康自己管理支援」谷山牧ほか／市民公開シンポジウム「アフターコロナ禍の自殺対策—地域で起きた分断の回復に向けて」立瀬剛志ほか／理事会企画セミナー／一般演題／ワークショップ／企画展示など

参加費▶[事前] 会員1万円、非会員1万2000円、[当日] 会員・非会員とも1万2000円、学生(大学院生除く)3000円

事前参加申込期間▶1月11日(火)～6月30日(木)24:00

申込方法▶下記Webサイトよりオンライン登録

参加費支払期限▶6月30日まで

問い合わせ先▶運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田区池内町3-21 ユピア内

✉ jachn25@yupia.net

☎ 052-872-8101 (平日10:00～16:00)

FAX 052-882-9612

https://jachn25.yupia.net

*掲載している情報は12月2日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。